

都市再生整備計画(第1回変更)

佐久穂地区

長野県 佐久穂町

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	佐久穂町	地区名	佐久穂地区	面積	989 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標 <安心安全で快適なまちづくり> 目標1 道路・道路橋の安全性を高めることにより安全なまちづくりを目指します。 目標2 子育て世代が働きやすい環境を整備するとともに、安心できる福祉体制の整備で、安心で快適なまちづくりを目指します。

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ・佐久穂町は、長野県の東部、南佐久郡の北部に位置しています。町の中心部を千曲川が南北に貫流し、その流域に沿って国道141号とJR小海線が走っています。また、千曲川を境とした東部の秩父山系と西部のハヶ岳山系の嶺を結ぶ国道299号が東西に走っています。 ・現在、中部横断自動車道、佐久南部広域農道、(主)川上佐久線バイパスの整備が進められています。 ・平成17年3月20日に合併して7年が経過しましたが、その間、平成19年度からの「まちづくり交付金」事業などを行って参りましたので、新しい町として社会資本整備が進み、現在は佐久穂町としての一体感が醸成されつつあります。 ・面積188.13K㎡、標高は700m～2,200mで面積の7割が山林原野となっており、集落はその山林原野を流れる多数の沢沿いや、僅かに傾斜がゆるくなっている山間部に点在しています。 ・当町の人口は平成17年の国勢調査では12,980人であったが、平成22年には12,069人となっており、5年間で人口が7.0%の減少、高齢化率も年々増加し、平成22年で31.3%になっています。 ・平成19年2月より検討委員会を立ち上げ、「小中学校のあり方」を検討した結果、町内全小中学校(4小学校2中学校)を平成27年4月に統合することが決定し、平成23年4月により建設が進められています。
課題 【道路・道路橋の整備】 ・町内全小中学校が統合されることに伴い、学校までの距離が現在より遠くなる地区が格段に増えることとなります。住民懇談会などにおいても、児童生徒の通学について危惧する声が多く寄せられており、狭あい区間の解消により、学校までの通学経路の安全性の確保を図る必要があります。 ・平成23年度に策定された橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路橋の長寿命化を図り、地域の道路網の安全性を確保していく必要があります。
【安心できる福祉体制の整備】 ・当町のデマンド型タクシーは年間約22,800人の利用者がありますが、これは当初計画した利用予定者、年間19,200人を超えております。高齢者等が単独でも安心して、通院・買い物等の日常生活に利用することができるデマンド型タクシーの利用しやすい環境整備をするために、運行車両の購入が必要となります。
【少子高齢化への対応】 ・少子高齢化に対応するためには、子育て世代が働きやすい環境を整備する必要があります。そのためには、放課後保育を必要とする児童を預かることにより、親の子育てと仕事の両立を支援することが大切です。 ・当町の世帯は、平成23年においては4,333世帯、そのうち高齢者の独り暮らし世帯は、601世帯となっております。今後、急激に独り暮らしの高齢者が増加することが予想され、また要介護認定者数の増加も著しいため、福祉体制の整備が必要です。
将来ビジョン(中長期) 佐久穂町総合計画 基本計画、後期5か年(H19年度～H28年度)において「都市基盤の整備、生活環境の整備、産業の振興、保健医療福祉の充実、教育文化の向上、住民と行政の協働推進」の6本を柱に積極的に取り組み、「笑顔があふれ 元気で誇りが持てるまちづくり」としている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
橋梁長寿命化修繕計画の目標達成	年	橋梁長寿命化修繕計画の目標を達成するまでの年数	道路及び道路橋の安全性を高めることにより、通学バスやデマンド交通の安全性を確保する。	10年	H24	5年	H28
特別養護老人ホーム待機者数の減少	人/年	特別養護老人ホームの待機者数の減少	特別養護老人ホームの建設を補助することにより、待機者数の減少を図る。	60人/年	H24	30人/年	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><道路・道路橋の安全性を高めることにより安全なまちづくりを目指す></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全小中学校が統合されることに伴って長距離となる学校までの通学路について、狭あい区間の解消及び歩行者空間の確保により、安全性を向上させる。 ・道路橋の今後増大する老朽化に対応するため、長寿化計画に基づいて、危険性の高い道路橋から修繕し、地域の道路網の安全性を確保する。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>基幹事業：道路拡幅改良事業(4路線) 基幹事業：道路橋補修(12橋)</p>
<p><子育て世代が働きやすい環境を整備するとともに、安心できる福祉体制の整備を行うことで、安心して快適なまちづくりを目指す></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしながら子育てをしている人を支援する拠点として、児童クラブの整備を行う。 ・高齢化に伴う要介護認定者の増加に対応するため町単独では建設の難しい特別養護老人ホームについて、民間活力の導入を促進するための経費負担を行う。 ・高齢者が通院・買い物等の日常生活で使用する足を確保維持するために、また、今後高齢化による運転免許返納者も増えてくることが予想されることから、これらの事に対応するためにデマンド型タクシーの運行車両の購入を行う。 	<p>提案事業：民間事業者が建設する特別養護老人ホームの建設費の補助 提案事業：児童クラブの整備(1箇所) 提案事業：デマンド型タクシー運行車両の購入(4台)</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中の計画管理について 事業を円滑に進めるため、また、目標に向けて確実な効果をあげるため、常に住民コンセンサスを取りながら行う。 ・事業終了後における事業展開 統合小中学校の跡地利用も視野に入れながら、本事業の目標効果を維持、発展させる試みを今後も続けていく。 	

都市再生整備計画の区域

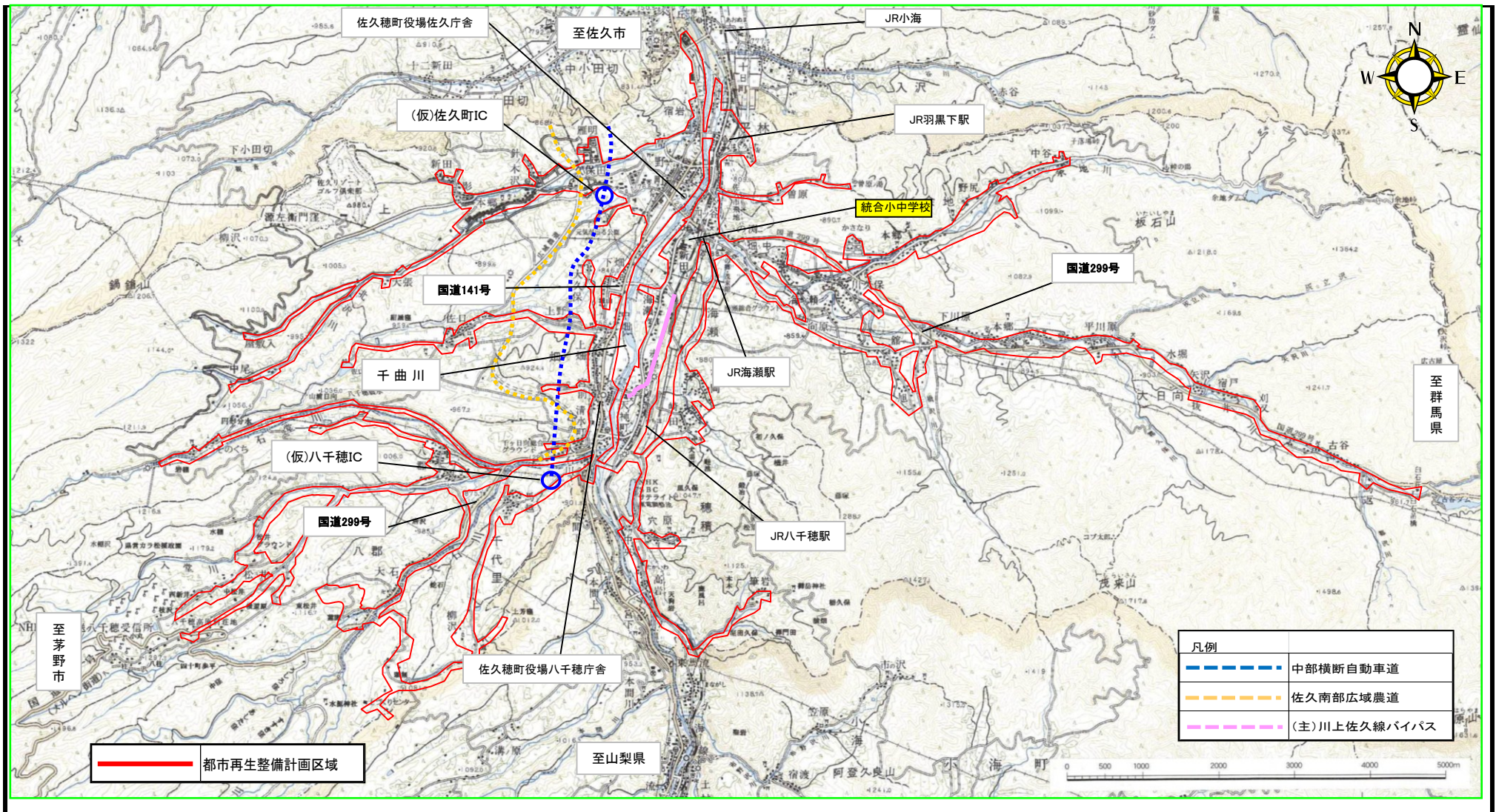
佐久穂地区(長野県佐久穂町)

面積

989 ha

区域

佐久穂町



佐久穂地区(長野県佐久穂町)整備方針概要図

目標	<安心安全で快適なまちづくり> 目標1 道路・道路橋の安全性を高めることにより安全なまちづくりを目指します。 目標2 子育て世代が働きやすい環境を整備するとともに、安心できる福祉体制の整備で、安心して快適なまちづくりを目指します。	代表的な指標	橋梁長寿命化修繕計画の目標達成(年)	10 (H24年度) → 5 (28年度)
			特別養護老人ホーム待機者数の減少(人)	60 (H24年度) → 30 (28年度)

